

2025 年度

ニチキッズ西明石保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月2日(月)
	実施方法	職員会議で話し合い、全職員で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもの主体性を重視し、社内研修や園内研修を通して“おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ”の理念に基づいた保育内容の見直し・実践ができた。子どもが“わくわく”・“いきいき”できるように日々の保育士間の連携を密にし、年間を通した行事の充実を図ることができた。
子どもの発達援助	日々のミーティングを実施し、子どもの様子の引継ぎを行うことで全職員が“子どもにとって”を最善に考えて関わることができた。保育内容では、遊びの中で指先や体幹を使った活動を取り入れ、発達に応じた手作り玩具提供し、子ども一人一人の豊かな成長に繋げることができた。
保護者に対する支援	日々の送迎時や定期的な懇談会を通し、保育や食育内容など、子どもの様子を丁寧に伝えることで、保護者の安心感に繋がった。また、環境の変化や家庭での様子など、些細なことでもこまめに声を掛け、相談に応じることで、保護者から子育ての相談が増えた。
保育を支える組織的基盤	毎月の職員会議や研修を通して、子どもの理解・保育士自身の保育の振り返りができた。また、常に、『子どもにとって』を考え、子ども一人一人に寄り添いながら、子ども自らが主体的に活動に参加し安心して園生活を過ごせるように努めた。

総評
今年度は、『保育の質』について自園の保育はどう？という部分を考える機会をたくさん設けた。取り組みの中で、日々のミーティング内容の充実を図り、保育の振り返り・不適切保育撲滅に繋げることができた。また、全クラス『STEAM教育』を取り入れ、五領域の観点を見直し、子どもの心情・意欲を大切にする保育を展開し、保育の質向上に努めた。園に通う子どもが、心身ともに健やかに成長できるよう、より安心安全な保育を行い、職員一丸となって安定した保育を目指したい。